

参議院外交防衛委員会質問要旨

1. モントリオール議定書 【河野外務大臣】

- ① 本議定書の提案の手続きに不備があり、国会提出のタイミングに誤りがあったことをどう考えるか。
- ② オゾン層破壊物質を規制することを目的とするモントリオール議定書において、オゾン層を破壊しないHFCを規制する理由は何か。
- ③ 本改正に対しては、オバマ政権が熱心に取り組んできた。他方、トランプ政権は「パリ協定」からの脱退を表明するなど気候変動対策には非常に後ろ向きの姿勢を見せている。米国は本改正に対しどのような姿勢をとっているのか。

2. 米朝協議、日朝協議の進展状況と問題点 【河野外務大臣】

- ① CVID47 項目の内容についての日米間の情報共有はどうかされているのか？
- ② 北朝鮮はラジオ放送やスイスの国際会議で日本に対して敵対的な発信をしている。今後、日本政府はこうした敵対的姿勢を克服して、日朝関係をどのように進めていこうと考えているのか、その展望について、河野大臣自身の考えを伺いたい。
- ③ 外務省は北東アジア課を新設することだが、その目的・規模などを示してほしい。

3. 沖縄の核密約関連の文書公開について 【河野外務大臣】

- ① 米国務省が6月20日に公開した外交文書から、1969年に佐藤栄作総理とニクソン米大統領が結んだ「核密約」の交渉経緯が明らかになった。今回の米国務省の公開を受けても、改めて有事の際の沖縄への核持ち込みは無いと言えるのか？その根拠を示されたい。
- ② 今回の外交文書公開や、昨年、米海兵隊が辺野古弾薬庫の大規模工事を計画していたとの報道、またいわゆる秋葉発言などが、外務省には、有事の際に沖縄に核を持ち込むことを是認する空気が脈々と受け継がれているような懸念を沖縄に与えている。政府はそうした懸念を払拭しておくべきと考えるが、外務大臣の見解を伺いたい。

4. カンボジア

【河野外務大臣】

- ① カンボジアにおいて本年7月に予定される選挙は、昨年11月の野党・救国党解散を受け、実質的に国民の半数の支持がある野党抜きでの選挙となる。これは、公平でも、正統でもないのではないかと。政府の認識を問う。
- ② 「カンボジア救国活動の会」代表をはじめとする約1,000人の在日カンボジア人が、6月17日、日本政府に選挙支援の中止を求めるデモを実施した。また同様のデモが韓国やフランス、アメリカなどでも行われた。在日カンボジア人が外務省に提出した請願に対し、河野外相はどのように対応するのか。
- ③ 日本は民主主義や人権、非暴力などを尊重する国との連携を強化しているはずで、メディア、NPOなどの弾圧や、国会議員の不逮捕特権のじゅうりん、野党党首の逮捕収監などを行うフンセン政権に対しては国連人権委員会でも40ヶ国で懸念を示している。日本も断固たる懸念を示すべきではないか？

5. 26日、富山で元自衛官が起こした殺人事件についてどう受け止めるか？

【小野寺防衛大臣】